



# 図書館だより



秋らしく過ごしやすいこの頃、勉強にも運動にも最適な季節ですね。でも忘れてはならないのは、読書の秋！秋の風を感じながらの読書は格別です。皆さんはどうなジャンルの本を読むのでしょうか。

本校では、恋愛ものやホラー小説が特に人気がありますが、やはり推理小説はこの季節には欠かせないのでないでしょうか。考察しながら読み進める醍醐味は、このジャンルならではでしょう！

何を読めば…とお困りの時は、古典ものから最新の本まで揃えていますので、ぜひ声を掛けてください。又、後期図書委員長・副委員長のこれから抱負と、皆さんにお薦めしたい本を紹介してもらいました。本は展示致しますので、ぜひ手に取ってみてください。

## お薦めの新刊本



## 螢たちの祈り 町田そのこ



螢が舞う夜、山間にある小さな町に暮らす中学生の二人が、お互いの罪を隠し合う「共犯者」となった。それから15年、大人になった二人が再会したことをキッカケに二人とその周囲の人たちの人生が大きく動き出す。彼女の作品は、読んでいて苦しく重い…本屋大賞を受賞した「52ヘルツのクジラたち」同様、それは哀しみよりも怒りの心情なのかもしれません。それでも尚、読む手が止まらないほど引き込まれる。子供は親を選べない…虐待など悲しいニュースが流れる今、さまざまな事を考えさせられる今作品。螢の温かくやさしい光が、怒りから再生や希望となって読者の心に深く残ります。



## 図書委員長・副委員長の紹介、お薦め本

### 委員長 23HR 山本さん

(抱負) 本を読むことは、今までとは違う観点で物事を考えたり、知らなかつた世界を知ったりできるところに魅力を感じ、幼い頃から好きでした。しかし、日頃自ら進んで図書室に来る人は限られています。皆さんにも本の魅力をもっと知ってもらい、高校生活の中で本を通じて思い出を作り、新しい視点を見つけることができるようになってもらいたいです。まずは、強制されるのではなく、行きたくなるような雰囲気作りや、明るく居心地のよい図書室にしていくように頑張っていきます。

### （お薦め本）ちはやぶる 末次由紀

お薦めポイント この本は競技かるたに青春を捧げる高校生の物語です。作品の魅力は、日本の伝統文化に触れられることだと思います。競技かるたを題材に描かれるこの作品は伝統的な百人一首に興味をもつことができ、読み進めていくに「やってみたい」と思うようになる人も多く、競技人口も増加傾向にあるようです。又、古文の授業がさらに好きになったり、自分の好きな歌を深掘りしたくなったりします。主人公が好きな歌「ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くるとは」はとても有名な歌ですが、この歌の意味は「神々の時代でも聞いたことがない、この竜田川を真紅に絞り染めするとは」です。歌人の深い意を感じ取ることができませんか？ぜひ手に取って読んでみてください。